

手とその世界が聖書解釈に読みの「現在的な」枠組みを提供するということではないであろう。そうであれば聖書は時代時代に異なった読み方をされる書物であるに過ぎないことになる。

意見

霊的解釈の射程

岡部 由紀子

当日の私の質問は、提題者のお二人が使われた「霊的解釈」という表現をめぐるものであった。「霊的な」という形容詞はテキスト教の伝統の中で多様な用例と用法を持つと思われるが、聖書解釈（ないし解釈論）においてどのように機能しているのか。——このように問うのは、一方で、それが「あるべき」解釈を論じる際の「評価語」として、また聖書解釈が一般の文献解釈と異なるそのゆえんに応じるものとして位置づけられていると考えられ、他方で、特定の手法や特定の人たちによる特徴的な解釈のあり方を指すと考えられるからである。このような状況それ自体は歴史的事実に関する問題であろう。それとは別に、解釈という高度に総合的な言語活動において価値という地平がどのように関与しているのかという問題があると考えたい（ご提題に挙げられていた、解釈の「意義」とか「正当性」という言い方も同じ問題の地平を示唆するものと受け止めている）。「霊的」というタームが開く問題の射程はどこまで届くのか、それが当面の問題である。

解釈において、本来は表現法を言うにすぎない「アレゴリカルな／比喩的な（解釈）」と、価値的な地平を反映する、身分の違う用語であるはずの「霊的な（解釈）」は、特定の状況の下で（例えば旧約の字義通りの解釈に対抗して、「アレゴリカルに」解することが「霊的」とであると主張されるとき）しばしば同じことのように語られる。その背景には、*IICor.3:6*「文字は殺し、霊は生かす」の「文字」と「霊」の対比が、あるときは「文字どおりの表現」と「（広義の）比喩的表現」の対比として、またあるときには「躰かせる解釈」と「あるべき／正当な解釈」の対比として言われてきた伝統があらう。こうした状況があったことをふまえてか、アウグスティヌスはその聖書解釈論 *De doctrina christiana* で「霊的解釈 *intellegentia spiritalis*」とは「あるべき解釈」のことであり、これを妨げるのは、「比喩的」に解すべきところを

「文字どおりに」解すことだけでなく、「文字どおりに」解すべきところを「比喩的に」解すこともそうであると、区別して言っている (cf. 拙論『中世思想研究』20, 1978)。彼自身はアレゴリアという語を余り使っていないが、使う場合には、「文字どおり ad litteram」に対する広義の「比喩的 figurate/translate」という意味の場合 (e. g. *Conf.* 13. 24. 37) と、「比喩的」用法のうちの一つとして挙げる場合 (e. g. *Doct.* 3. 29. 40, cf. *Trin.* 15. 9. 15) がある。アウグスティヌスはまた、アンブロシウスの説教においてそれまで「文字どおりにとって」躓いていた旧約の箇所が「靈的に」示されるのを聞いて新たな視点を獲得したと回想しているが (*Conf.* 5. 14. 24; 6. 4. 6), それは単に方法としての比喩的な解釈に出会ったということではありえず (彼は既に修辞学の専門家であった), むしろアンブロシウスを通じて東方教父の解釈の伝統にふれ「靈的な解釈」の適用例に出会ったと言う方が相応しいと考えられる。

アレゴリカルな解釈 (あるいは比喩的な解釈) がそのまま「靈的な」わけではない (水垣氏もまた、アレゴリカルな解釈の「歯止め」として「靈的な」という用語が使われたことがあると言及された)。文献の解釈という、総合的に言語に関わる知的活動においては、様々なレベルで「あるべき/あるべきでない」読み方が取捨されるが、「比喩的表現」か「文字通りの表現」かをめぐって「あるべき」解釈を問うことは最終段階に近い作業であろう。「靈的な」という評価的表現はそこに登場する。聖書解釈における「靈的」というタームは東方に由来するだろう。私自身はギリシャ教父についても解釈のあり方の歴史についても不案内だが、解釈という総合的な活動において、全体を統括するような価値の視点はどこに求められるのかという問いは常にあったろう。もし「靈的」がその最上位の価値を言うものでないのなら、「靈的」を価値づける更に上位の視点 (例えばそれによって allegorical や moral な解釈が場合に応じた仕方ですべて「よい」とされる) はどのように語り出され得るのか。そして、最終的に「真」という問題は、どのような形で関与すると考えられるのか。

意見

言葉とその場——聖書解釈をめぐる

山本 巍

無限の全体としての真理の光は余りに苛烈で、われわれの言葉も思考も生き方もこ